

学校だより



かきた

児童数 444 名(6月30日現在)

＜学校教育目標＞

「**自分のよさ(知性・感性)を発揮し、心豊かにたくましく生きる子ども**」を育成する

かしこく きよく たくましく

言葉に出して認めること

校長 熊倉 秀幸

梅雨の合間に見せる日差しがまぶしい反面、急な雷雨が来ることの多い6月。例年に比べて天気メリハリがつきすぎているように思えます。学校のプールでは天候にかかわらず元気に泳ぐ子供たちの姿が見られます。早いもので1学期もあと3週間余となりました。蒸し暑い季節で気持ちが緩み、疲れも出始める頃です。保護者や地域の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。日頃より本校の教育活動に対してご理解とご支援をいただいておりますことに、心よりお礼申し上げます。

先日、6年生のバスケットボール大会が行われました。保護者の皆様のたくさんの応援、ありがとうございました。6年生はチームの仲間と協力し、一人一人が力を出し切って頑張りました。仲間のゴールの時だけでなく、相手チームの良いプレーにも拍手を送る姿があって素晴らしいなあと思い、心が温まりました。本大会は、バスケットボールという競技を通して仲間とふれあい、交流することが目的です。次年度以降も「ふれあい・交流」という目的が達成できるように、かすみ北っ子には頑張ってもらいたいし、校長としても有意義な大会になるように計画・実施していきます。

バスケットボール大会を観戦した後、改めて『相手を認めること』について考えました。一人一人誰でも持っているそれぞれのよさがあります。それは個性とも言いますが、どれも素晴らしいものです!そしてそのよさを認めることで、相手は喜ぶだけではなく、自分のよさに気づくこともあります。互いに相手のよさを言葉に出して伝え合う(認め合う)ことで、自分のよさに気づくのです。かすみ北っ子には、友達のよさを言葉に出して相手に伝え、互いを認め合うことができる関係であってほしいと願います。

ご家庭では、他者と比較せずにお子様自身の頑張っていることや伸びたこと、努力していることを言葉にしてお子様に伝えてみてください。7月は1学期のまとめの月です。よさを認める場面はいくつもあると思います。子どもたちも『頑張ったり努力したりしているから認めてほしい!』と思っているはずです。学校でも、それぞれのよさを見取り、認めていく場面が増えるように、職員一同取り組んでいきます。

ぜひご家庭でも、『よさを言葉に出して認める』7月にしてみませんか。



「褒めて(自信を持たせて)育てる」という発想よりも、
「認められて(自信をもって)育つ」という 発想のほうが、子どもの自信が持続しやすい。
〔文部科学省-国立教育政策研究所 生徒指導リーフ 調査報告書より〕